

美波町病院事業経営改革プランの実施状況について

平成21年度の美波町病院事業経営改革プランの実施状況について、美波町病院事業経営改革プラン評価委員会において、経営指標及び数値目標等について、点検・評価を行い、8月6日にその結果を美波町長に答申しました。

答申内容については、次の通りです。

美波町病院事業経営改革プランの実施状況について（答申）

1. 各病院ごとの、財務に係る数値目標について検討をしたところ、平成21年度計画に対して、実績では、

○ 経常収支比率については、

日和佐病院では65.2%で4.4%下回っている。

由岐病院では100.2%で1.3%上回っている。

○ 職員給与費比率については、

日和佐病院では119.7%で8.2%上回っている。

由岐病院では58.1%で0.6%上回っている。

○ 病床利用率については、

日和佐病院では49.4%で10.9%下回っている。

由岐病院では40.4%で9.6%下回っている。

○ 医業収支比率については、

日和佐病院では54.2%で6.6%下回っている。

由岐病院では87.6%で0.9%上回っている。

○ 外来患者数については、

日和佐病院では1日あたり81.6人で18.4人下回っている。

由岐病院では1日あたり128.8人で21.2人下回っている。

以上のような結果となっており、各項目については、多少の差異はあるが、特に病床利用率は両病院ともに10%前後下回っているため、更なる努力が必要である。引き続き平成23年度の目標に向かって努力されたい。

2. 両病院の運営状況を検討した結果、日和佐病院の累積欠損金は386,388千円で過大な金額が計上されており、資金不足を134,000千円の借入金で補っている現状であり、運営は大変厳しい状況である。由岐病院について、累積欠損金も無く資金不足もない。

このようなことから、今後、早急に経営形態の見直しをする必要がある。

3. 日和佐・由岐両地区において今後それぞれ安心して医療が受けられる体制が望まれる。このことについても、早急に検討していただきたい。